

第 1 7 0 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 5 年 2 月 1 6 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 7 0 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 5 年 2 月 1 6 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 階 「 海 技 試 験 室 」 Web 開 催

出席者：

公 益 委 員	上原委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労 働 者 委 員	漢那委員、柴田委員、島仲委員
使 用 者 委 員	桃原委員、亀谷委員、角委員

沖 縄 総 合 事 務 局 古謝船舶船員課長、
比屋根課長補佐、池原係長

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 6 9 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

- 資料 1. 第 1 6 9 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
- 資料 2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 5 年 1 月 分)
- 資料 3. 令 和 4 年 度 船 員 に 係 る 最 低 賃 金 額 の 改 正 作 業 ス ケ ジ ュ ー ル
- 資料 4. 漁 業 就 業 支 援 フ ェ ア 2023
- 資料 5. プ レ ス 発 表 資 料 「 チ バ リ ョ ー ! フ ネ ー ジ ョ ★ i n 沖 縄 」

上原 部会長

それでは、定刻でございますので、第 170 回 船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

事務局（池原）

本日は、公益委員 4 名、労働者委員 3 名、使用者委員 3 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることを御報告させていただきます。

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

上原 部会長

それでは、まず初めに、前回、第 160 回 船員部会の議事録について承認を諮りたいと思います。事前にメールにて確認されていると思いますが、議事録について何か御意見はありますでしょうか。

原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」）の声

上原 部会長

全員から承認いただきましたので、原案のとおりといたします。

続いて、議事の 2 「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局（比屋根補佐）

令和 5 年 1 月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

● 求人状況について

新規求人数は 4 件でした。

前月に比べ 4 件減少、また、前年同月に比べ 10 件減少となっております。

月間有効求人数は 43 件でした。

前月と同数、また、前年同月に比べ 20 件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等 43 件となっております。

月末未済求人数は 40 件でした。

● 求職状況について

新規求職数は 6 名でした。

前月と同数、また、前年同月と 1 名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等 5 名、漁船 1 名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

1月の新規求職者6名の退職理由は、自己都合が5名、海上勤務中の現職が1名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が1名、管内が5名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は20名でした。

前月と比べ4名増加、また、前年同月と比べ1名増加となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等18名、漁船2名となっております。

月末未済求職数は15名でした。

●成立状況について

1月の成立は2件でした。

●求人倍率について

1月の月間有効求人倍率は、2.15倍でした。

前月に比べ0.54ポイント減少、前年同月に比べ0.94ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は2名、支給延べ件数は2件です。

基本手当支給額は、278,194円でした。

その他、再就職手当が366,597円、総支給額は644,791円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について何か御質問等がある方はいらっしゃいますか。

ないようですので、次に進めてよろしいでしょうか。

それでは次に、意見交換に入りたいと思います。何か御意見のある方はいらっしゃいますか。

はい、漢那委員お願いします。

漢那委員

先週2月11日から与那国島に行っていました。理由は、今台湾情勢で台湾有事になったらどうするのかということもあって、海員組

合の組合員さんが不安がっているところがあります。

そこには、福山海運の「よなくにフェリー」が運航していますけれども、その乗組員さんや石垣島の高速船の船員さんは、うちの組合員で有事があった場合どうしたらいいのかというのをよく聞かれます。

先の大戦で6万人余りの民間船員さんが犠牲になっています。

我々、海員組合としては、戦後二度とそういうことが起こらないように誓っています。同報志にも書いているとおり、台湾有事になったときの船員さんの扱い、国がそういう考えを出していないのもありますけど、島民を助けるために行っていくとか、会社や国から言われて、運航して犠牲になった際にどうするのかというような問題があります。

そんなこと起こらないだろうじゃなくて、もし有事になったとき、国としてどうするのか。総合事務局としてどうするのか。県としてどうするのか。全く考え方が示されておられません。

防衛大臣もそのあたりに与那国に入って、シェルター建設を議会と議論しているとは聞きました。

自衛隊駐屯地に行くと、自衛官の方ともいろいろと意見交換をしてみましたけど、やはりここは普通の自衛隊の駐屯地と違って、最前線で緊張感が違いますという意見もありました。

それを総合事務局にどうこうという話ではなくて、そういう環境の中で走っている我々の組合員さんについて、また今後どういうふうにしていったらいいのか、要するに犠牲にならないためにどうしたらいいのか、いろいろみんなで考える時期に来ているのではないかと感じていますので、意見とさせていただきます。

会長、以上です。

事務局（池原）

只今のご意見は、当局運輸部総務運航課になるかと思われます。

また、本省担当とも共有してどういった対応ができるか、今後御報告いたします。

上原部会長

我々もとても関心がある事項ですのでぜひ情報がありましたらよろしくをお願いします。

そのほか何か意見のある方いらっしゃいますか。

柴田委員、お願いします。

柴田委員

海員組合の柴田です。よろしくお願いいたします。僕のほうからは、最近のお話の中で今県立高校の入試が近づき、志願状況の中間報告ということで、ホームページ等にも記載されているのですが、以前からいろいろお話をしている沖縄水産高校は今現在、26名の一般入学定員枠に対して、志願者数が50名というふうになっております。

倍率で言うと1.92倍ということで、これは県内で3番目になるかなと思います。定員枠が各学科各学校によって違うのですが、非常に高い水準ではないかなというふうに思っています。

これは、久米商船さんや沖縄総合事務局または僕たちがいろんな啓

蒙活動を行ってきた成果の他に学校現場の先生方も非常に努力されているものが少しずつ出ているのではないかと思います。

ただ、僕はその反面、入学できる数は40名ということなので、26に対して50名が応募していますので14名落選というか、入学できないという現状もあるのではないかなと思います。

わたし50名応募があったら50名入学してほしいなと、思っております。船員不足が喫緊の課題であることを考えれば14名落ちてしまうというのがちょっと悲しい現状であるのかなと思います。

宮古総合実業高校も同じ船員養成学校ではありますが、ここは非常に倍率が低い状況でございます。同じ教育課程を踏む中で、この14名落ちる学校と倍率が非常に割れている学校があるというのは、これから何らかの対策がとれるのではないかなと思っています。

来週、沖縄総合事務局で人材育成協議会がありますが、入学倍率を高める活動を僕たちは推進したいわけではなくて、船員さんをもっと増やそうという形を進めていかなければいけないのかなと思っています。

来週の協議会で同様の発言させていただこうと思っていますけども、今後も沖縄水産高校のバックアップや応援というものも沖縄総合事務局、そして船員さん皆さん方とも連携して実施したいと思っております。

以上です。

上原部会長

柴田委員、報告ありがとうございます。

そのほか意見のある方いらっしゃいますか。

はい、亀谷委員、お願いします。

亀谷委員

資料4に添付しており、先月も御紹介しましたが、19日（日）に漁業就業支援フェアが開催されることになっております。県内から九つの漁協が出展して、来場者の方に地元での漁を紹介して漁業者になりませんかというようなアピールをしたいと考えております。

また、漁業に興味を持った方には、マッチングをしていくというような取り組みをしています。コロナ禍前は5、60名の参加者がいらっしゃいましたが、コロナ禍で参加者が少ない状況ですが、できるだけ多くの方に来ていただいて、漁業の実態、地域毎の漁法等そういったものを見ていただきながら漁業を知って漁業者になるような一つのきっかけになればと考え今回のフェアを開催します。

よろしければ見に来ていただければありがたいです。

以上です。

上原部会長

ありがとうございます。今週の日曜日ですね。それは学生さんたちも大勢いらっしゃるのでしょうか。

亀谷委員

そうですね。一般の方の他に学校にも呼びかけていますので、特に年齢とか性別とか関係なく全ての方に来ていただいてもらえるようなフェアとなっています。

上原部会長

はい。ありがとうございます。

そのほか意見のある方いらっしゃいますか。

よろしいでしょうか。

それでは、意見交換はこれにて閉じさせていただいて、あとは事務局から資料の説明があります。よろしくお願いいたします。

事務局（比屋根補佐）

私のほうから最低賃金の改正作業スケジュールについて、今の状況を御報告させていただきます。資料3になります。

今、2月の最低賃金の決定官報公示及び関係先の連絡になりますが、沖縄総合事務局内での改正決定については、2月8日付で決裁、同日付で本省のほうに官報公示の依頼を行っております。

本省のほうから3月2日から3月31日までの間で官報公示を掲載予定と連絡がありましたので、効力の発生としては今現在、4月1日を予定しているという状況になっております。

以上です。

事務局（池原）

続いて、資料5の説明になります。こちらは前回の船員部会でも御紹介しました「チバリヨ！フネージョ★in沖縄」ということで、2月14日付けプレス発表の資料になります。開催日は変わらず来週の月曜日、2月20日の14時から15時半ころまで沖縄総合事務局1階の共用会議室で開催を予定しております。

メンバーも今のところ変更ございませんので、予定どおりのタイムスケジュールで開催されるものと思っております。

また、前回、柴田委員のほうから船員部会の女性委員の方が参加することで、今後の参考になるということを提案いただきましたが、今回、一般の船員さんや学生さんが出席ということもあって、緊張しないように開催事業の事前準備の段階からオーディエンスは入れないということで進めさせていただいております。

また当日、座談会の様子はYouTubeでもアップする予定にしておりますので、そちらを御覧いただいてご意見いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、大城委員のほうから提供の資料がございます。表示しますので少々お待ちください。

大城委員、よろしいでしょうか。

大城委員

はい、ありがとうございます。

3月17日金曜日なのですが、私がアドバイザーを務める沖縄職業能力開発協会というところで、人材育成に関する講演会があります。

講演は、オリンピックの陸上競技でメダルを取られた朝原選手と一緒にリレーで参加されたアスリート工房の譜久里さんの講演と「いまいパン合同会社」の事例発表があります。

例えば、今のパン屋さんで美味しくないパンってありませんよね。

パン屋さんの中でも流行っていたり儲かっているところがありますが、そういったパン屋は、人材育成が徹底されていたり、何かヒントになることがあると思いますので、よろしければお越しくださいますようご案内します。

上原部会長

ありがとうございます。

今、大城委員が紹介した譜久里さんは、久米島出身の私と同年で、リレーの世界選手権もよく出ていて、一度講演を聞いたのですが、とてもためになる元気が出る講演でしたので、皆さんよろしく願いします。

そして、「いまいパン」は私も時々朝、買いに行きます。有名なパン屋で、おいしいですから皆さんもぜひお試しください。

では、そのほか報告、あるいは質問等があれば受け付けますが、もうよろしいでしょうか。

はい、それでは事務局から連絡がありますので、事務局よろしく願いいたします。

事務局（池原）

3月の船員部会は、3月16日木曜日2階共用会議室Dで11時より開催します。後日、改めて案内の文書を送付いたします。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

また、今回の議事録案は後日メールで照会させていただきますので、またよろしく願いします。

上原部会長

はい、ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、本日の部会を終了させていただきます。

ありがとうございました。